

天竜川水系太田切川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

宮田村

駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により太田切川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
 - (2) 指定年月日 令和8年4月3日
 - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第49号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる国管理河川
・天竜川水系太田切川（実施区間）
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 太田切川流域の24時間総雨量77.5mm
 - (7) 関係市町村 駒ヶ根市、宮田村
 - (8) その他計算条件等
この図は、太田切川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
この図は、太田切川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡例 浸水した場合に想定される水深 （ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m ~ 0.5m未満の区域
- 0.5m ~ 1.0m未満の区域
- 1.0m ~ 3.0m未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m未満の区域
- 5.0m ~ 10.0m未満の区域
- 10.0m ~ 20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川

1:10000
200 0 200 400 600 800m

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R7JHs791」
「背景図は基礎地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。」